

アウトカム指標による評価

○達成 ▲未達成		Plan	Do	Check	Action						
自転車分担率	自転車事故	通学区分順守率	路上駐輪台数	古町	万代	施策メニュー	主な実施内容	評価	課題	今後の取り組み	
						はしる～走行空間計画～					
	○	○				①ネットワーク路線の自転車走行空間の確保	最重点	H29末整備延長(予定) : 64.3km	◎自転車事故の削減や通学区分順守率の向上につながった	-	・自転車事故の更なる削減や通学区分順守率の向上に向けて、自転車走行空間の整備を推進する
	○	○			②ネットワーク路線以外の新築・改築路線の自転車走行空間の確保	重点	H29末整備延長(予定) : 8.9km (計画延長 : 38.0km)				
						とめる～駐輪計画～					
			▲	○		①既存駐輪場への誘導	その他	新たに10地点(21箇所)に看板設置	▲路上駐輪台数は、万代は目標を達成したが、古町は達成しなかった	・古町地区の路上駐輪台数削減	・古町の地区特性を考慮した路上駐輪台数削減方法を検討する
						②新潟駅周辺の駐輪場整備	重点	H34新潟駅高架化以降の整備に向けて地元や関係機関と意見交換会を実施中	・新潟駅南口地区は5箇所のうち4箇所が仮設の駐輪場であり、駅東側連絡通路下の仮設第2駐輪場において歩道上への放置自転車が多い	・駐輪場の整備を引き続き検討するとともに、放置自転車対策も検討する	・駐輪場整備の検討とあわせ、地域との連携などにより日常的な対策も検討する
						③鉄道駅周辺の駐輪場整備(新潟駅以外)	その他	大形駅、越後石山駅で駐輪場整備	・乱雑な駐輪や長期放置自転車が多くなりやすく、二重駐輪などにより歩行者や鉄道利用者への迷惑となっている他、景観上の問題もある		・駐輪場整備の検討とあわせ、地域との連携などにより日常的な対策も検討する
			▲	○		④まちなかの駐輪場整備	最重点	古町地区 : 1,546台(8箇所) 万代地区 : 951台(6箇所)	▲路上駐輪台数は、万代は目標を達成したが、古町は達成しなかった	・古町地区の路上駐輪台数削減	・古町の地区特性を考慮した路上駐輪台数削減方法を検討する
						⑤上記以外のバス停付近の駐輪場整備	その他	市役所バスターミナルや南区において駐輪場整備	・乱雑な駐輪や長期放置自転車が多くなりやすく、二重駐輪などにより歩行者やバス利用者への迷惑となっている他、景観上の問題もある		・駐輪場整備の検討とあわせ、地域との連携などにより日常的な対策も検討する
						しくみ～放置自転車対策～					
			▲	○		①放置禁止区域の拡大	最重点	地元や関係機関との意見交換会を実施中	・放置禁止区域拡大の是非について、地元や関係機関の意見を踏まえながら検討を行う必要がある		・放置禁止区域拡大の是非について引き続き検討を行う
			▲	○		②撤去の強化	重点	H27年度より撤去回数を増加	◎路上駐輪台数の削減につながった	・古町地区の路上駐輪台数削減	・古町の地区特性を考慮した路上駐輪台数削減方法を検討する
						③放置禁止区域における駐輪場の有料化	その他	未実施	・駐輪場の有料化による是非について検討を行う必要がある		・有料化の是非について検討する
						④「自転車等駐車場の附置義務等に関する条例の改正」	その他	未実施	・これまでの附置義務による駐輪場設置箇所において、利用実態に即しているかの検証が必要		・利用実態を検証し、必要に応じて改正を検討する
						⑤自転車等放置防止条例の改正	その他	未実施	・撤去台数が減少傾向しており保管スペースには余裕があるが、6ヶ月の保管期間により自転車の劣化が進行し、リサイクル可能な自転車が減少		・保管期間の短縮を検討する
						⑥撤去自転車のリサイクルの推進	重点	公用車、一般販売によるリサイクル、および廃棄処分の自転車を鉄くずとして有価化	・安価な自転車が普及し、リサイクル可能な自転車が減少 ・鉄くず価格の変動により、鉄くず費と運搬費・廃タイヤ処分費のつりあいが取れることもあり、買い取れる業者が少ない		・リサイクル方法や有価化方法の見直しを検討する
▲						⑦自転車シェアリングの推進	その他	未実施	・自転車シェアリングに対する大学や企業の認知不足		・企業や大学への働きかけやシェア用のリサイクル自転車の確保を検討する
						まもる～啓発活動計画～					
	○					①注意喚起看板等の設置	重点	必要箇所において路面表示等を設置	◎自転車事故の削減につながった	-	・自転車事故の更なる削減に向けて、必要箇所への設置を検討する
	○	○				②交通安全教室の開催	最重点	実施率の増加	◎自転車事故の削減や通学区分順守率の向上につながった	-	・自転車事故の更なる削減や通学区分順守率の向上に向けて、交通安全教室を継続的に開催する
	○	○				③街頭での直接指導	最重点	H28 : 1路線	◎自転車事故の削減や通学区分順守率の向上につながった	(アウトプット指標8路線は未達成)	・自転車事故の更なる削減や通学区分順守率の向上に向けて、街頭での直接指導の回数を増加する
▲						④自転車通勤の推進	その他	H28から「エコモビ推進運動」を実施	・新潟市は天候不良が多い、企業に駐輪場がなく自転車通勤を禁止しているなど、自転車通勤において様々な課題がある		・自転車分担率向上のため、社会全体として自転車の利用促進を検討する
						⑤レンタサイクル	重点	7区、9事業で実施中(主に観光目的)	・リサイクル自転車をレンタル用自転車として活用している事業があり、リサイクル可能な自転車が減少しているため、レンタル用自転車の確保が難しくなっている		・取り組みの周知を図り、利用を促進する他、コミュニティサイクルなどの新たな方法を検討する
	○	○				⑥チラシやHP等による情報発信	重点	チラシ、HP、Twitterで情報発信	◎自転車事故の削減や通学区分順守率の向上につながった	-	・自転車事故の更なる削減や通学区分順守率の向上に向けて、情報発信を継続的に実施する
	○					⑦自転車マップの作成・配布	その他	4区でマップを作成	◎自転車事故の削減につながった	-	・自転車事故の更なる削減に向けて、継続的に更新・配布する他、他の4区でも作成を検討する
						⑧サイクルイベントの開催	その他	新潟シティライド、新潟ヒルクライムを継続実施 その他の地区イベントを実施	・新潟シティライドや新潟ヒルクライムは、参加者数が増加傾向にあり、人気イベントとなっている		・自転車利用促進を図るため、イベントを継続的に実施する